

# 樺だより

2019. 9. 13



## どこが違うでしょう？！



左の2枚の写真は、どちらも本校の校舎をグラウンドから撮ったものです。上は、昨年以前に撮影したもので、下は今年の8月下旬に撮影したものです。みなさん、違いがわかりますか？（写真を撮った角度は気にしないでください。）

一つの答えは人工芝です。今年7月から8月にかけて、人工芝が張り替えられました。上が以前の人工芝、下が新しい人工芝です。

新しい芝は、色合いや感触がより天然芝に近いものになり、何よりも表面温度が以前ほど高くないので、過ごしやすくなっ

ています。

でも、ほかにも違うところがあるのですが、わかりますか？よ〜く見てください。上の写真にあるもので、下の写真にないものがあります。

そう、答えは「木」です。人工芝の張替に伴い、グラウンドの周囲に植わっていた木を全て取りました。絵としては少し寂しくなったように見えるかもしれませんが、でも、お陰でグラウンドがかなり広くなりました。体育の授業や部活のときにグラウンドを端まで使えなかったり、下草にボールがはまったりして、長年体育の先生を悩ませてきた問題も解決しました。

で、その木はどうなったのでしょうか。

こういう場合、植木は廃棄されることが多いのだそうです。でも、この通信の名前を「樺だより」と名付けたことから推察していただけたらと思いますが、私は「木」が大好き。絶対どこ

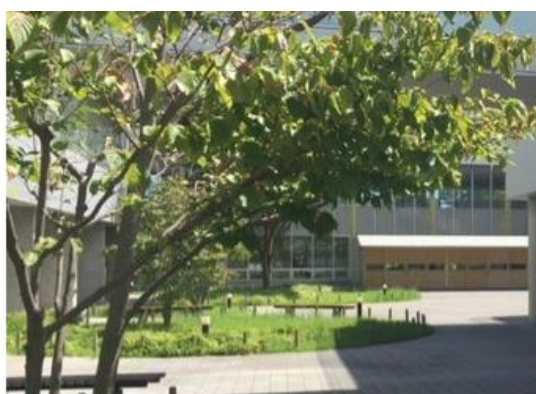


クロガネモチの実

かに移植したいと思い、校内を歩き回って移植先を探しました。残念ながら、3本あった「クロガネモチ」のうち、1本はもともと枯れかけていたのであきらめました。他の2本及びその他もろもろの木は、暑い最中の移植にもかかわらず、校内のあちこちで今元気に根付いています。注意深く移動させてくれた植木屋さんに感謝です。

それにしても、木がどこに行ったかなんて、気にする人はほとんどいません。だから、私だけの秘密みたいな気がして、一人で楽しんでます。

一つだけ、お教えしましょう。下の写真は、撮影した方向が反対なのでとてもわかりにくいかもかもしれませんが、左の中央のサークルと、右側のサークルは同じものです。何が違うか、わかりますか？ わかる人は、とても注意深く周囲を観察している人だと思います。



Before



After

答えは、右側のサークルには、左端に木が一本増えているんです。この木はヤマボウシで、左側の写真の奥のサークルに1本だけ植わっていたものです。それを同じヤマボウシが2本植わっていた右のサークルに移動させたというわけです。元のサークルには、グラウンドに



あった小型のケヤキを植えました（写真左）。植え替えた当初は葉っぱがしおれていましたが、今は元気です。

さて、グラウンドにあったその他の木はどこにいったでしょう。これを読んだ生徒が、ちょっと興味をもって探してくれることを、密かに期待している私があります。ヒントは、根本の周りの土の盛り上がりです。

誰も気づかないことに気づいたり、身の回りのささやかな変化に興味をもったり、それを自分だけが知っていることを面白がったり…あれ、これはその昔、清少納言が「枕草子」に書いていましたっけ。

…いみじうをかしと言ひたることどもの、人の心には、つゆをかしからじと思ふこそ、またをかしけれ。（…私が言ったことが、ほかの人には少しも興味深くないだろうと思うと、それがまた面白い。）

「枕草子」第125段「長月ばかり夜一夜降りあかしつる雨の」